

N E C

Express5800 シリーズ

ESMPRO[®]/AC Advance マルチサーバオプション

Ver3.6

1 ライセンス

UL1046-116

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション Ver3.6（1ライセンス）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション Ver3.6（1ライセンス）をご使用になる前に、必ずお読みください。

Windows VistaTM、Windows Server[®] 2003、Windows[®] XP、Windows[®] 2000、Windows NT[®]、Microsoft[®] は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
ESMPRO[®] は日本電気株式会社の登録商標です。

目次

第1章	製品内容	4
第2章	セットアップの準備	5
2.1	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのセットアップ環境	5
2.2	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションの構成例	6
第3章	セットアップの方法	7
3.1	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのインストール	7
3.2	ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのアンインストール	9
第4章	注意事項	12
4.1	セットアップ関連	12
4.2	アンインストール関連	12
4.3	共有フォルダ関連	12
第5章	障害発生時には	13

第 1 章製品内容

ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション Ver3.6（1 ライセンス）は、次の内容で構成されています。

まず、添付品が全てそろっているかどうかの確認を行ってください。

- | | |
|----------------|------|
| ・ K e y F D | 1 枚 |
| ・ ソフトウェアのご使用条件 | 1 部 |
| ・ セットアップカード | (本書) |

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションをご使用になるためには、マルチサーバ構成内に管理サーバとして ESMPRO/AC Advance Ver3.6 がセットアップされているサーバが必要です。ESMPRO/AC Advance Ver3.6 のセットアップ方法は「ESMPRO/AC Advance Ver3.6 セットアップカード」を参照してください。

2.1 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのセットアップ環境

ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプションをセットアップするためには、次の環境が必要となります。

① ハードウェア

＜サーバ＞

- ・対象機種 : Express5800シリーズ
- ・メモリ : 2. 5 MB 以上
- ・固定ディスクの空き容量 : 4. 0 MB 以上
- ・HW/BIOS機能（＊） : WOL (WakeOnLAN) 機能を実装しているサーバ
OSのシャットダウンで、電源OFFが可能なサーバ

（＊）

サーバ本体HWが提供する機能を利用する為、機種によっては機能が提供されていない場合があります。

例えば、BIOS設定項目で WakeOnLAN機能を有効にしたサーバであっても、Windows2000のシャットダウン状態からの「WakeOnLANによるサーバ起動機能」は「HW的に無効な仕様」の機種があります。

Express5800/110Ef、120Ee、120Rd-2等がこれに該当します。

これらの環境は、リモート起動を含め、自動運転の起動機能は実現できません。

また、スタートメニューなどからのシャットダウンの起動にてサーバの電源がOFFされないサーバでは、自動運転の停止機能の場合にも同様に電源がOFFできません。この場合には、その後の自動起動も出来ません。

これらの機能制限は、サーバ本体のHW仕様等に依存する為、導入の際には、予め使用するサーバ本体HWおよびOSを確認してください。

（同一装置であってもBIOSのバージョンに依存する場合があります。）

② ソフトウェア

＜サーバ＞

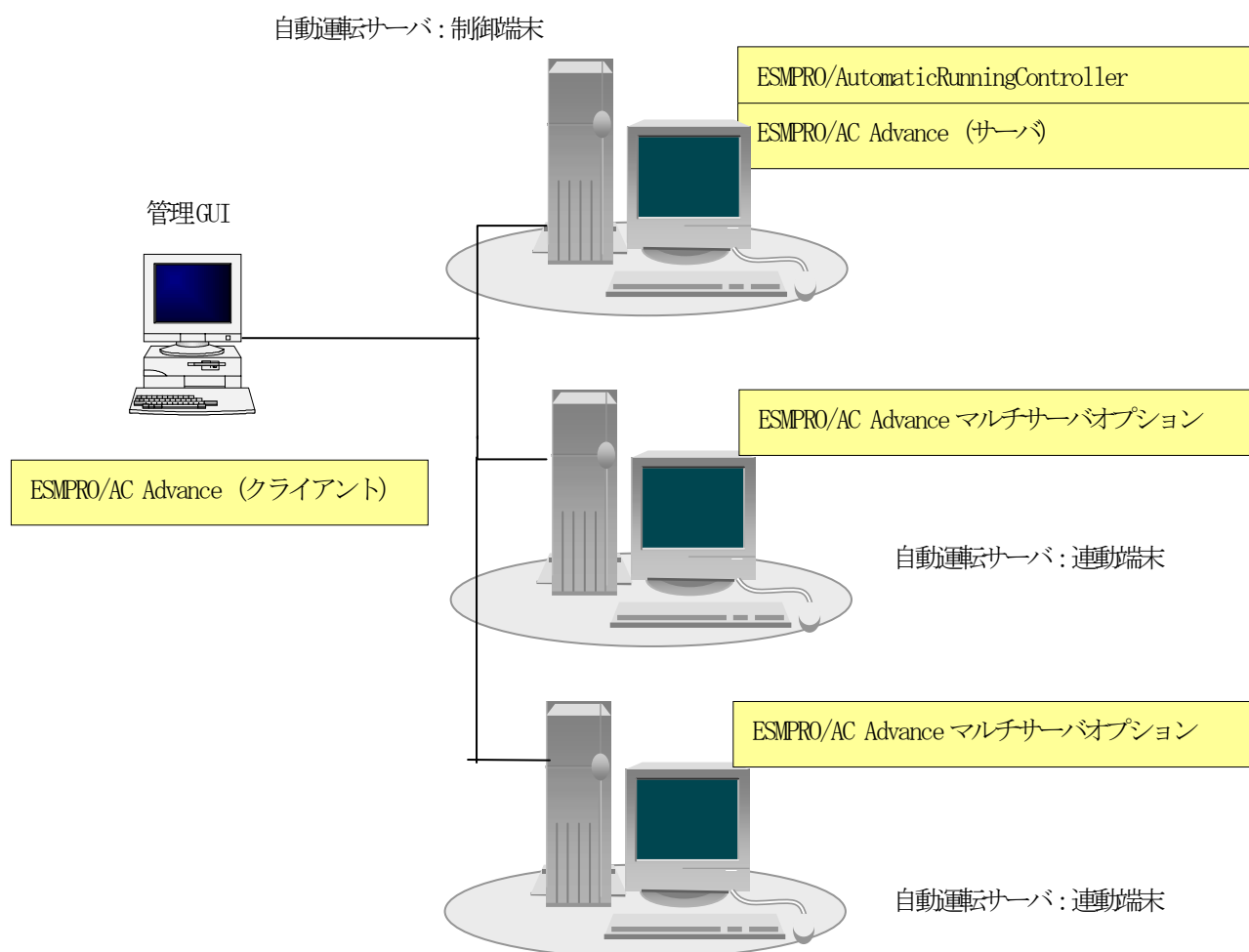
- ・Microsoft Windows NT 4.0 Server/Workstation
- ・Windows 2000 Advanced Server/Server/Professional
- ・Windows XP Professional
- ・Windows Server 2003
- ・Windows Server 2003 R2

- Windows Vista Business

最新の動作環境については、下記サイトでご確認ください。

ESMPRO/AutomaticRunningController (<http://www.ace.comp.nec.co.jp/AC/>)

2.2 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションの構成例



第3章 セットアップの方法

3.1 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのインストール

- (1) 『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #1』のCD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。#1 と書かれた CD-ROM が複数あるときは、CD-ROMに格納されている PPLIST.TXT を参照して、本製品が収録されている CD-ROM を特定してください。
- (2) [Express Server Startup]を起動します。
(起動手順については次のセットアップカードを参照してください)
 - ・ Express5800シリーズ
 - Express Server Startup
- (3) 「ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション」のセットアップには「一括インストール」と「個別インストール」の2通りの方法があります。以降、それぞれの方法について説明を行います。

◆ 一括インストールの場合：

[Express Server Startup] から、【インストール】－【一括インストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。

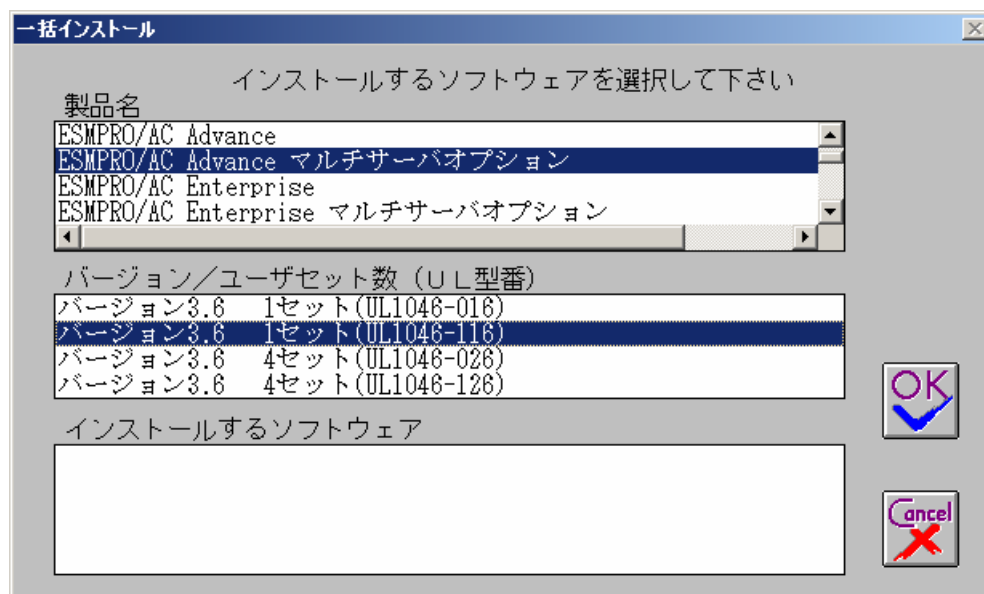


図 1 インストールするソフトウェアの選択画面

- ① 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション」をダブルクリックします。
このとき、「ESMPRO/AutomaticRunningController」を一緒に選択しないでください。
- ② 選択した「製品名」の「バージョン/ユーザセット数」が「バージョン/ユーザセット数 (UL型番)」に表示されますので、「バージョン3.6 1セット(UL1046-116)」をダブルクリックします。
- ③ 「インストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション バージョン3.6 1セット (UL1046-116)」と表示されますので「OK」ボタンを押しま

- す。
- ④ 以降、インストール先ドライブ名、KeyFDをセットするドライブ名、氏名／会社名の入力を行います。
 - ⑤ 「ソフトウェア名 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション バージョン 3.6(UL1046-116) のKeyFDをドライブ X: にセットして下さい」と表示されます (Xは KeyFDをセットしたドライブ名) のでKeyFDをドライブ X:にセットして「OK」ボタンを押します。
 - ⑥ ファイルの転送が開始されます。
 - ⑦ (4) へ進みます。

◆ 個別インストールの場合：

- ① [Express Server Startup]から、【インストール】・【個別インストール】を選択します。
- ② KeyFD をセットするドライブ名の入力を行い、「OK」ボタンを押します。
- ③ 図 1 と同様の画面が表示されますので、【一括インストール】の場合の手順①、②と同様にして「製品名」と「バージョン／ユーザセット数 (UL 型番)」の選択を行い「OK」ボタンを押します。
- ④ 氏名／会社名の入力を行い「OK」ボタンを押します。
- ⑤ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのセットアップダイアログが表示されます。
- ⑥ 「続行」ボタンを押します。
- ⑦ インストール先のフォルダを入力するダイアログボックスが表示されます。
- ⑧ ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション をセットアップするドライブ、フォルダを決定します。パスを入力し直すと、任意のドライブ、フォルダにセットアップすることができます。入力が完了したら「続行」ボタンを押します。
- ⑨ フォルダ確認ダイアログが表示されますので、インストール先のフォルダに誤りのないことを確認して「続行」ボタンを押します。入力をやり直す場合は「戻る」ボタンを押して⑦ からやり直します。
- ⑩ ⑨ で「続行」ボタンを押すとファイルの転送が始まります。
- ⑪ 「セットアップは完了しました」とメッセージが表示されるとセットアップは終了です。
- ⑫ (4) へ進みます。

(4) 次のダイアログボックスが表示されるとセットアップは終了です。

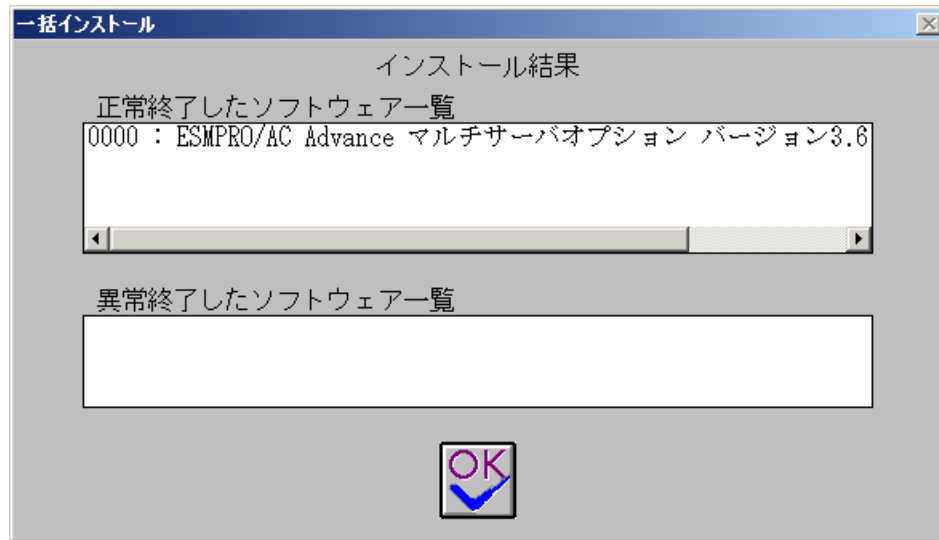


図 2 インストール結果表示ダイアログ

注) 個別インストールを行った場合、ウィンドウタイトルは「個別インストール」になります。

(5) [Express Server Startup]を終了して、システムの再起動を行ってください。

注意

セットアップの実行中に<終了>および<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意ください。

ESMPRO/Advanceのセットアップにおいて、ESMPRO/AdvanceマルチサーバオプションをインストールしたサーバのMAC address情報が必要になります。コマンドプロンプトで”ipconfig /all”と入力し、そこに表示されるIP addressとPhysical Addressをメモしておいてください。

3.2 ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのアンインストール

- (1) 『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100 シリーズ用 #1』のCD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。#1 と書かれた CD-ROM が複数あるときは、CD-ROMに格納されている PPLIST.TXT を参照して、本製品が収録されている CD-ROMを特定してください。
- (2) [Express Server Startup]を起動します。
(起動手順については次のセットアップカードを参照してください)
 - ・ Express5800シリーズ

- (3) 「ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション」アンインストールまでの手順
 [Express Server Startup]から、【アンインストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。

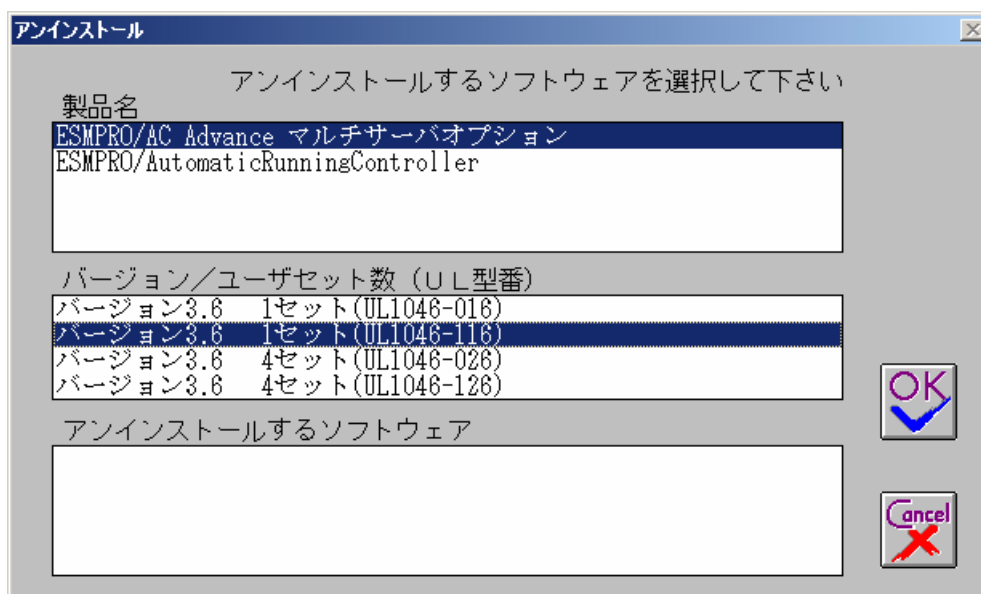


図 3 アンインストールするソフトウェアの選択ダイアログ

- ① 「製品名」一覧から、「ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション」をダブルクリックします。ここで、「ESMPRO/AutomaticRunningController」を選択しないでください。
 - ② ① で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が「バージョン/ユーザセット数 (UL型番)」に表示されますので「バージョン 3.6 1セット (UL1046-116)」をダブルクリックしてください。
 - ③ ② の選択が終わりますと、「アンインストールするソフトウェア」に「ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション バージョン 3.6 1セット (UL1046-116)」と表示されます。
- (4) 「OK」ボタンを押し、KeyFDをセットしたドライブ名の入力を行います。
- (5) 「ソフトウェア名 ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション (UL1046-116) のKeyFDをドライブ X: にセットして下さい」と表示されます (XはKeyFDをセットしたドライブ名) ので、KeyFDをドライブ X:にセットして「OK」ボタンを押します。
- (6) アンインストールが開始されます。
- (7) 「アンインストールは完了しました。」とメッセージが表示されます。

- (8) 「ESMPRO/AC Advanceマルチサーバオプション」アンインストールの終了状態が表示されます。

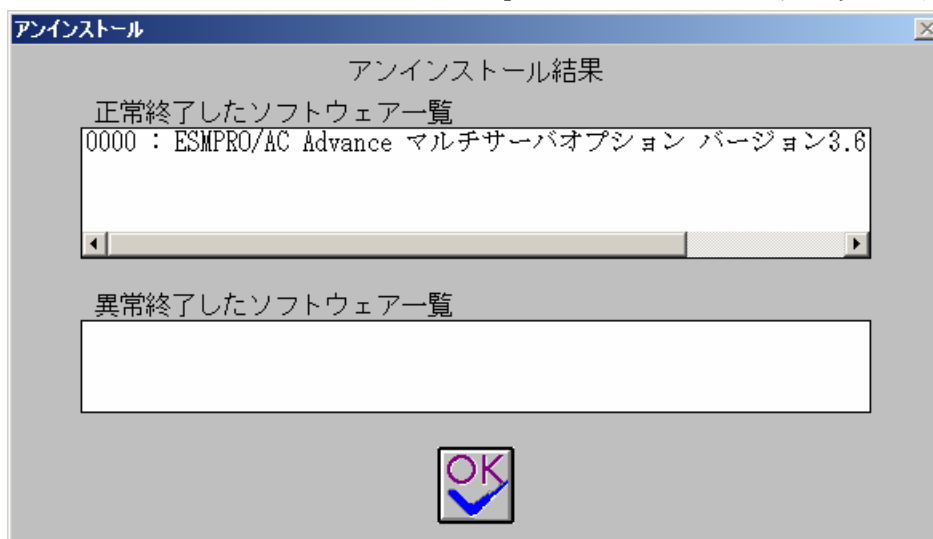


図 4 アンインストール結果表示ダイアログ

- (9) [Express Server Startup]を終了してください。

第 4 章 注意事項

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションのご使用にあたり、次の事項にご注意ください。

4.1 セットアップ関連

- (1) ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション Ver3.6 は、ESMPRO/AC Advance Ver3.6 のオプション製品です。従って、ESMPRO/AC Advance Ver3.6 をインストールし、AC Management Console (AMC) 機能にて、本サーバを制御対象として登録してある制御サーバが、LAN 上に必要です。設定方法の詳細については「ESMPRO/AC Advance Ver3.6 セットアップカード」を参照してください。
- (2) 本バージョンの ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションは、JIS2004 で新規追加された文字に対応していません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作において、JIS2004 の新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。

4.2 アンインストール関連

アンインストール可能な製品名一覧に「ESMPRO/AutomaticRunningController」が表示されますが、これを選択するとアンインストールは正常に終了されません。「ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション」がインストールされている環境では「ESMPRO/AutomaticRunningController」は選択しないようご注意ください。

「ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプション」のみを選択し、アンインストールを実行すると「ESMPRO/AutomaticRunningController」は表示されなくなります。

4.3 共有フォルダ関連

ESMPRO/AC Advance マルチサーバオプションでは、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有フォルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

「ARCDATA」の共有フォルダは、ESMPRO/AutomaticRunningController + ESMPRO/AC Advance がインストールされたサーバ上の GUI からリモート接続する場合に使用します。

サーバの OS が Windows XP の場合、セキュリティの設定により他サーバからのネットワーク接続が不可となってしまうことがあります。その際には、[フォルダオプション] の [表示] にある [簡易ファイルの共有を使用する (推奨)] チェックボックスをオフにして、簡易ファイルの共有インターフェイスを無効にする必要があります。これは Windows XP の制限事項になります。

第5章障害発生時には

障害発生時には、お手数ですが、以下の情報を採取してください。採取の方法など、詳細については、「ESMPRO/AC Advance セットアップカード」をご参照ください。